



# 私のひとりごと

## 「納得のいく買い物」

衣替えの時期。お互い生身の体である。明日健康とも生きているとも不透明な中で、今年も無事に夏物を衣装ケースに収めることが出来たことに感謝している。この歳になると、来年もこの服が着れるのだろうか…？と不安にもなり、複雑な思いで収納する。そして、新たに入れ替えた冬物をクリーニングし、冬に向け準備をするのがこの時期、私の恒例行事である。

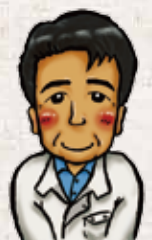
ただ、最近取り出してきた服のサイズが合わなくなっている。洗濯をして、服が伸びたのか？縮んだのか？又は、私の体が小さくなったのか？…多分、どちらとも思われる。先日、身長を計ると2mm低くなっていた。どうやら歳をとると身長が低くなるのは本当のようだ。ところがウエストの方は伸びたら縮まらず、サイズが合わない一番の原因でもある。そこで、今シーズンもジーンズを買いに行くことになったのだが、以前、仕事の合間で時間が無いのに、飛び込んだお店で、店員さんに勧められるままに買ったジーンズがある。前がファスナーではなく、ボタン留めだった事にも気付かず、お値段が高かった割には、不便でほとんど履いていない失敗をしているので、今度は慎重に選ぼうと決めていた。

今回の行先は、お値段がリーズナブルな某ブランド店。衣替えの時期と土曜日が重なり、店内は大勢の人。まず、一般的なジーンズを試着してみると、少しゴワゴワ感がある。が、とりえず裾の長さをチェックしてもらおうと、「このままレジにお願いします」と誘導される。以前なら、「まあいいか」と妥協していたが、今日は納得するまで買わないと決めていたので、さらに物色し、試着すると前よりも少しいい。なので、また裾をチェックしてもらい、「前にチェックしたジーンズ返していいですか？」と尋ねると予想通り笑顔で対応してもらった。にも関わらずさらに物色をする。まだ少しのゴワゴワ感が気になっていたのだ。そこで今度は、このお店の売りである、伸びるジーンズを試着すると、体にフィットし違和感が無い。「これがいいかな…」と心でつぶやき、裾の長さをチェックしてもらい、先ほどと同じく、「前の返していいですか？」と言えば、予想通り、表情が硬くなっていた。3回目ともなれば当然で、「このオッサン、ジーンズ1本買うのに何回チェックするんじゃ！早よう決めんかい。」と思っているのだろうかぁ〜、と気が引けつつも、しぶとくさらに物色をする。なぜなら、ウエストサイズが気になっていたからである。伸び縮みする分、85cm〜92cmと対応幅がありすぎて、洗濯して伸びてしまえばブカブカになるのでは、と心配で決めきれない。じっくりこないままに店内をウロつくと、ダメージジーンズコーナーがある。もちろん、最初から気付いてはいたが、私の歳では似合わないと思い込んでいた。しかし、ここに至ってはと、一度試着してみると、それが「ピッタシ」とくる。さらに裾の長さもピッタリで、店員さんに気を遣わなくて済む。ようやく納得できるまでにかかった時間は、1時間30分。納得のいくものを買うには時間がかかるものだなぁ〜と実感した。

さて、最後の難関？は家内である。カード支払いなので、購入履歴をチェックされ必ず買ったことがわかってしまうのだ。こわごわお見せすると、「こんなチャラいもん着るんかい！？」とキツめのお言葉。確かに納得できるお言葉である。ただ「これ1本買うのにどれだけ苦労したのか知っとるんかい」と言いたかったのだが…、返る言葉が怖くて黙り込んでしまった。毎年衣替えの時期になると、同じような会話をしているような気がする…。

ではまた来月もお会いしましょう。  
今月も最後まで読んでいただき…、

あーがしう  
ございました!!



【店員さんのプレッシャーにもめげません笑】